

整理番号	2024M- 353	補助事業者名	地方独立行政法人 山口県産業技術センター	事業項目名	エコマテリアルを用いた高機能セラミックフィルターの開発
------	------------	--------	-------------------------	-------	-----------------------------

別紙 JKA補助事業 2024年度 事前計画/自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2025	年	5	月	7	日	作成者	松田 晋幸
-----	------	---	---	---	---	---	-----	-------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画/自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					採点
(1) 受益者(ニーズ)	受益者: 県内企業の未利用資源(石灰・ガラス製品等)について再資源化するための研究成果を得ることができた。ニーズ: 再資源化した未利用資源を機械オイルや廃油等の環境負荷物質を削減するための高機能フィルターへ利用するための基礎的な研究成果を得ることができ、自社の環境負荷物質の削減を要望している県内企業のニーズに対応した研究内容であった。				4
(2) 事業内容	共同研究に必要な機器の導入・設置が当初計画より1か月程度遅れたことにより、研究開発の開始が遅れたが、効率的に研究を進めた結果、事業期間内(3/31)にまとめ・報告書までを完了することができた。本研究の活用方法を検討するため、県内外の企業に本研究の内容を紹介・意見交換をおこなった。また研究の実施概要をホームページに掲載し、成果の普及に努めた。				
事業の新規性または継続の必要性	県内企業において未利用資源(鉄鋼生産原料の石灰石・半導体製造装置の石英ガラス部材等)を有効活用し、再資源化や製品化する要望がある。本事業で実施した研究は、これまで県内企業では再資源化できなかった未利用資源を再資源化・製品化を可能にする技術であり、新規性が高いといえる。				4
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				採点
実施計画・体制	当センターではこれまでにもエコマテリアル関連技術の研究開発に取り組んでおり、本技術開発に関連する研究員や機器を保有していることから、本事業での研究開発を円滑に進め、当初の事業期間内に本事業を完了することができた。				4
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 研究開発を令和7年2月28日までに完了した。	[達成状況] 90%	[具体的内容] 以下の研究開発項目を1か月程度遅れて完了した。(当初の予定は2025年1月末完了) ①エコマテリアルを用いたセラミックフィルターのプロトタイプを試作 ②プロトタイプの特性評価	3
	事業の成果・波及	[達成値] 企業訪問:3社	[達成状況] 150%	[具体的内容] 県内企業2社、県外1社に訪問し、本研究開発の成果や取り組みを紹介し、意見交換を行った。	5
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1.2回 2.1回	[達成状況] 150%	[具体的内容] 1.12月および1月に開催した技術報告会でパネル展示を行い、本研究開発の取り組み内容の紹介を行った。 2.本研究の実施概要をホームページに掲載した。	5
	競争・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1.2回 2.1回	[達成状況] 150%	[具体的内容] 1.12月および1月に開催した技術報告会で、JKAの補助事業(オートレース)であることを記載したパネル展示を行った。 2.JKAの補助事業(オートレース)であることを記載した本研究の実施概要をホームページに掲載した。	5
(5) 自己評価の体制	令和7年3月10日に研究開発の内容についてヒアリングを実施し、研究内容の評価を受けた。また令和7年5月2日に評価委員会(委員は技術支援部長の他、全5名)を開催し、目標に対しての達成状況について評価した。評価結果は当センターHPで公開予定。評価委員は当初7名を予定していたが、令和7年度の組織改編等により、5名での実施となった。				3

(b) 総合評価

総合評価点	5
-------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画(2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	本事業では、エコマテリアルを用いた高機能フィルターの開発に必要な基礎的な成果を得ることができた。また、企業訪問や技術報告会でのパネル展示等の情報発信についても目標値を達成できていることから、本事業は当初の計画通りに実施できたと考えている。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	【優れている点】当センターでこれまでに蓄積してきたエコマテリアル関連の技術が本事業での研究開発によって、より高度な技術開発に結びついている。 【課題・改善すべき点】特に改善すべき点は見当たらないが、本事業終了後も本研究で得た技術を活用した製品化・事業化に努める。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってほしい点	当センターでは本事業で実施した研究および設備導入のほか、これまでにJKAのオートレース補助を受けて整備した機器が多数ある。これらの機器を積極的に活用することで、本事業での研究開発分野のみならず、多くの産業分野での活用が期待できる。